

# 全町民1人3,000円分のあの「元気券」が再び!!



町ではこれまで、新型コロナウイルス感染症や物価高騰などの影響を受けている地域経済や皆さんの生活を支援するため、4回にわたり振興券を配布してきました。今回は、第5弾として町内の店舗で使える振興券「いのちと暮らしを守る あいかわ元気券」を配布します。6月下旬～7月上旬にかけて、世帯主宛に「引換券」を郵送しますので、引き換えの際にお持ちください。

- **額面** 1人当たり3,000円分(500円券×6枚)  
※大型・個店共通券2枚、個店専用券4枚
- **対象** 5月1日現在、町の住民基本台帳に登録されている方
- **引換期間(予定)**  
7月21日(金)～23日(日) 午前9時30分～午後8時
- **引換場所(予定)**  
町内21カ所の児童館・公民館などで引き換え  
※詳しくは、「引換券」に同封する通知や町ホームページをご覧ください。

- **利用可能期間(予定)**  
7月21日(金)～12月31日(日)



問 商工観光課 商工労政班  
☎(内線)3524

町ホームページ  
「いのちと暮らしを守る あいかわ元気券」

## 取扱店舗募集

「いのちと暮らしを守る あいかわ元気券」を使用できる店舗を募集しています。登録料・換金手数料は無料ですので、ぜひ、ご登録ください。申し込み方法や条件など、詳しくは町ホームページをご覧ください。お問い合わせください。

# 路線バスの小児IC運賃が一律50円になりました



問 企画政策課 企画政策班  
☎(内線)3233

将来を担うお子さんや子育て世代を応援するため、小学生以下の小児が交通系ICカードを利用して神奈川中央交通の路線バスに乗車する場合、どこまで乗っても運賃が一律50円となりました。

## ●利用方法

- バスを降りるときに、小児用ICカードを読み取り機にタッチしてください。
- ※大人用ICカードを利用する際は、運転手に小児であることを申告してください。
- ※深夜バス、現金での支払い、町内循環バスは対象外です。

# 他にもいろいろ お得にバスに乗ろう

問 神奈川中央交通(株)バス案内センター  
☎0463(22)8833 (平日午前9時～午後5時25分)

**かなちゃん手形** 1回当たり100円(現金)で、神奈川中央交通の路線バスに乗車できる乗車券。

- **対象** 69歳以上の方
- **販売額** 3カ月券 3,500円/6カ月券 5,900円/1年券 10,800円

※町では70歳以上の方の「かなちゃん手形」購入費の一部を助成しています。本年度の申請は6月からです。詳しくは「広報あいかわ6月1日号」または、町ホームページをご覧ください。

町ホームページ  
「高齢者バス割引乗車券『かなちゃん手形(1年券)』の購入費助成事業」



**一日フリー乗車券** 神奈川中央交通の路線バスに、一日に何度でもご乗車出来るお得な乗車券。

- **販売額** 大人1,050円、小児530円

# 高等学校等通学助成金

高校生は町の助成制度も、ご活用ください!

問 教育総務課 庶務施設班 ☎(内線)3613

## ●対象 次の要件を全て満たす方

- 町内に住所があり、高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校、専修学校高等課程にバスまたは自転車で通学をしている生徒の保護者  
※通信制の場合は、通学実日数などにより審査しますので、ご相談ください
- 生活保護を受給していないこと
- 町税(国民健康保険税を含む)に未納がないこと

## ●助成内容(いずれか一方のみ)

## ●申請方法

申請書に、在学と通学方法について学校の証明を受けた上で、5月15日(月)～令和6年2月29日(木)の間に教育総務課へ提出または郵送してください。申請書は、教育総務課、ラビンプラザ、レディースプラザ、町ホームページで配布しています。

	バス通学助成金	自転車通学助成金
助成の期間など	就学期間中	就学期間中に1回
助成金額	バス乗車区間の3カ月定期相当額を3で割った額の25%相当額(100円未満切り捨て)×12カ月分	自転車購入額の2分の1(上限2万円。電動アシスト自転車は上限6万円。100円未満切り捨て)

# ドミニカ共和国の ラケル・ペーニャ副大統領が町を訪問

問 企画政策課 企画政策班 ☎(内線)3234

4月1日、ドミニカ共和国のラケル・ペーニャ・ロドリゲス副大統領が来日に合わせて小野澤町長を表敬訪問されました。

本町には、ドミニカ共和国籍の方が国内市区町村のうちで最も多く在住しており、これまでも外務副大臣や駐日大使といった方々の訪町や、町から同国への高規格救急車の寄贈、町内での野球教室の開催など、さまざまな交流を行っています。

今回、ペーニャ副大統領をはじめ、パベル・イサ・コントラス経済大臣、ヴィクトル・ビソノ産業大臣、ロバート・タカタ駐日ドミニカ共和国特命全権大使などの皆さんが訪町され、本町による支援、さらには長きにわたる友好・交流について、副大統領から感謝の言葉をいただきました。



愛川ブランド認定品「陽だまり農園のいちご」を試食する副大統領



前列左から、小野澤町長、ペーニャ副大統領、タカタ大使、後列左からビソノ産業大臣、コントラス経済大臣



## 初の女性消防士も活躍中!



## 新採用職員をご紹介します!

本年4月に採用された初の女性消防士を含む17人の新採用職員が活躍中です。今回、3人の職員をご紹介します。

問 総務課 総務法制班 ☎(内線)3215

### 柔軟な接客で 困っている人を助けたい

福祉支援課 障害福祉班  
田村美紀 主事補



出身は鎌倉市ですが、通学などで、愛川町の近くに来ていたので、町のことは良く知っていました。採用が決まりいざ、住んで

みるとお店もたくさんあり、とてもベネリなところだと思いました。配属された福祉支援課では、主に支援事業の申請受け付けや障害者手帳の交付などの業務に携わっています。窓口の接客は緊張しますが、これからは、早く仕事を覚えて、柔軟な接客で「田村さんがいて良かった」と言ってもらえるような公務員になりたいです。

### 誰かを助ける仕事がしたい!

消防署本署 警備第1課第1警備隊  
酒井李奈 消防士



父が消防士ということもあり、誰かを助ける仕事をしたいと思い消防士を目指しました。出身の群馬県と同じく、自然が多く、暮らしやすい愛川町の採用試験を受けました。実際に勤務すると、素早く出動する先輩隊員の皆さんを見て、すごいなと驚きました。今は訓練期間中なので、現場に出いていませんが、先輩たちのように常に出動を意識するように心掛けています。

これからは、多くの町民の皆さんが、救急隊が現場に着くまでの間、応急手当ができるよう、普及活動をしていくほか、パニックになった通報者を安心させられるような消防士になりたいです。

### 消防士は小さい頃からの夢

消防署本署 警備第2課第2警備隊  
林 優希 消防士



母と祖父が消防団に入っていたのがきっかけで、地域の安心・安全を守る仕事がしたくて消防士になりたいと思いました。

消防士は毎日が実践なので、常に的確な対応をする先輩隊員の皆さんを、とても尊敬しています。また、初の女性消防士ということで、なじめるか不安でしたが、先輩隊員の皆さんが優しく迎えてくれ、ここに来て良かったなと心から思いました。将来は、誰よりも地域住民や仲間のことを考えられて、人のことを守り抜くという強い気持ちを持った消防士になりたいです。